

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

17794

埋蔵文化財発掘調査事業

[長期総合計画]

分野別目標	2	住みたいと選ばれる魅力があふれるまち
政策	5	郷土に誇りと愛着を育む文化・スポーツの振興と生涯学習の推進
施策	3	文化財の保護・活用
取組方針	1	文化財の保護

事業区分(1)	事業経費		管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務		法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	総務費		
	項	文化スポーツ費		
	目	文化財保護費		
	大事業	文化財保護事業		
	中事業	埋蔵文化財発掘調査事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 文化振興課 福田 幸誠 435-1194
事業実施の根拠法令	文化財保護法		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)を適切に保護する。		埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査を実施、保護資料を作成する。			
事業内容		令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
		埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査の実施、保護資料の作成。発掘資料の保存修理、発掘調査事業の企画、調査の実施。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。	埋蔵文化財包蔵地(遺跡)内の土木工事に対処して、確認調査・立会調査・発掘調査の実施、保護資料の作製。

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度		令和07年度		
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算	
事業費	18,661	18,381	10,683	10,098	20,515	20,078	10,631	0	10,631	0	
伸び率(%)	0%	0%	△42.8%	△45.1%	92%	98.8%	△48.2%	△100%	0%	0%	
人件費	正規職員	10,162	16,911	17,439	16,349	18,229	17,836	17,836	0	17,836	0
	正規職員以外	115	2,132	1,659	1,659	1,662	1,662	1,662	0	1,662	0
	小計	10,277	19,043	19,098	18,008	19,891	19,498	19,498	0	19,498	0
国庫支出金	4,356	4,069	5,144	3,275	6,830	6,830	4,250	0	4,250	0	
県支出金	217	182	253	161	342	342	212	0	212	0	
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0	
一般財源(税等)	14,088	14,130	5,286	6,662	13,334	12,906	6,169	0	6,169	0	
所要人数(人)	正規職員	1.31	2.18	2.24	2.10	2.32	2.27	2.27	0.00	2.27	0.00
	正規職員以外	0.06	1.12	0.86	0.86	0.86	0.86	0.86	0.00	0.86	0.00
主な予算内訳	印刷製本費 1,908千円 発掘調査補助事業委託料 16,017千円										

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度	令和07年度
			目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
文化財保護法に基づく届出・通知件数	件	目標値					
		実績値	289	256	310		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
立会調査件数	件	目標値					
		実績値	68	66	50		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
確認調査件数	件	目標値					
		実績値	23	22	38		
		達成度(%)	%	%	%	%	%
発掘調査件数	件	目標値					
		実績値	2	2	5		
		達成度(%)	%	%	%	%	%

4 事業の評価

評価基準				
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき	他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか	○	急いで取り組む	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる	あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない	制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正	負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持		○		
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	文化財保護法に基づき市内の埋蔵文化包蔵地（遺跡）を適切に保護するために行われる事業である。
見直し・改善内容	日常的な文化財パトロールにより、文化財保護法に基づく届出等の漏れがないように努める。